

1. はじめに

私たちの周りでも核家族化が進み、総務省統計局によると高齢者の約半数が一人もしくは夫婦のみで生活しています。離れて暮らしている家族とは気軽に会うことができませんし、お互いの時間が合わなければ、ゆっくり話をすることもできません。

そこで私たちは、離れて暮らす家族をつなぐコミュニケーションツール「てれびじょん」を開発しました。

2. システム概要

「てれびじょん」は付属のマイクやカメラを使って音声やビデオの短いメッセージを作成し、離れて暮らす家族間でやりとりするシステムです。自分の空き時間にメッセージの送信や閲覧ができるので、お互いの生活を気にすることなく気軽にコミュニケーションがとれます。またすべての操作を市販のリモコンで行い、画面の指示に従ってボタンを押すので、情報機器の操作や文字を打つことに不慣れな高齢者や幼児でも簡単に使うことができます(図1)。

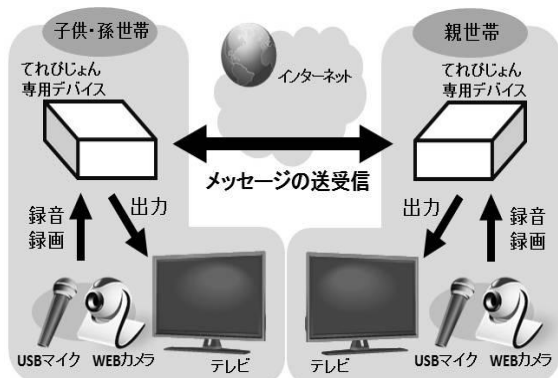


図1 システム概要

3. システム構成

「てれびじょん」は、てれびじょん専用デバイス、USBマイク、WEBカメラ、LCD電光掲示板、リモコンと家にあるテレビで構成されています。専用デバイスに割り振られている固定IDを交換し合うことで自身の通信リストに相手の専用デバイスの固定IDを記録し、通信を確立します(図2)。

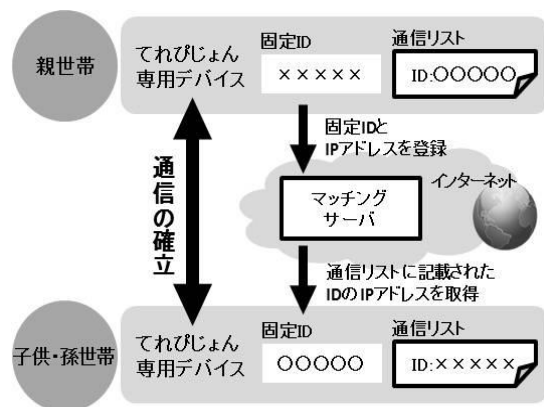


図2 通信の確立までの流れ

4. 主な機能

「てれびじょん」には以下の5つの機能があります。

メッセージの作成	音声やビデオの短いメッセージを作ります。作成されたメッセージはすべてのユーザーに送信されます。
メッセージの閲覧	受信したメッセージを再生します。
返事作成	メッセージ再生後に、送信者に対して音声かビデオで返事を出すことができます。
お気に入り登録	お気に入り登録をすると、メッセージが探しやすくなります。
メッセージの管理	メッセージが届いたらLCD電光掲示板でお知らせします。またメッセージの件数が一定の量を超えた場合、お気に入り登録されたメッセージを除いて古いものから自動で削除されます。

5. おわりに

離れて暮らす家族でも、頻繁にコミュニケーションをとることで、相手のちょっとした変化に早い段階で気づくことができます。「てれびじょん」は離れて暮らしながらも、まるで同居しているかのような環境を実現します。